

今回は、大阪大学大学院医学系  
研究科教授でデザインディレクターの  
川崎和男様がゲストです。



# 楽しく勉強しよう!!



この人が  
大好き!!

## 川崎 和男様

かわさき・かずお 1949年 福井市生まれ。大阪大学大学院医学系研究科コンシリエンステデザイナー看護医学部寄附講座特任教授・デザインディレクター・博士(医学)。グッドデザイン賞審査委員長など行政機関での委員を歴任している。国内外での受賞歴も多く、ニューヨーク近代美術館など海外の主要美術館に永久収蔵、永久展示されている作品も多数ある。

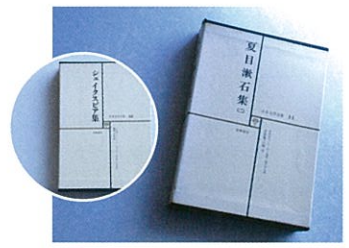
第六回 ゲスト

### 優しいおじいちゃんと勉強!

**D** どんちゃん(以下D) 今回はお時間いただきありがとうございます!  
**川崎和男さん(以下K)** お久しぶりですね! 今日はお久しぶりをお願いします。  
**D** 川崎先生は福井のご出身ですが、どんな子ども時代をお過ごしだったんですか?  
**K** 厳しい父と優しい母に育てられました。それから、僕はおじいちゃんが大好きでした。

**D** おじいちゃんはどんな人だったんですか?  
**K** 勉強したら、おごつかいをくれたんです。本を読んで、その内容をおじいちゃんに説明するという勉強です。  
**D** すごい! どんな本を読んだんですか?  
**K** 「世界文学全集」と「日本文学全集」です。小学校を卒業するまでにすべて読み終わりました。おごつかいが嬉しくて、おじいちゃんとの勉強に夢中になっちゃいました。

**D** ええっ! 小学生の間に全部?! おじいちゃんの教育方法、素晴らしいですね!  
**D** はい、僕もそうでした(笑)



「世界文学全集」と「日本文学全集」  
全部合わせて100冊以上もある!!  
小学生でこれを読めるなんてすごすぎる!!



### 夢は変化してもいい!

**D** もともとデザインの仕事に憧れていたんですか?  
**K** いえ、昔は作家になろうと思っていました。作家になるにはどうすればいいか考えた結果、「まずは医者だ」と思ったんです。  
**D** 作家になるために、医者になる? ほん、小説家の森岡外とか北杜夫も、もともとは医者だったでしょ?  
**D** たしかに! それでお医者さんを目指したんですか?

**K** それかね、医者を目指して勉強していたある日、美術家の横尾忠則の絵を見て心から感動しちゃったんですよ。そのとき「やっぱり美大へ行く」と決めたんです。  
**D** それか川崎先生が芸術に関わるきっかけだったんですね!  
**K** 当時は何の知識もなかったのですが、でも、夢はどんどん変化してもいい、たくさんあっていいですね!  
**K** その通りです!

### 福井から世界へ!

**D** 先生は世界中でご活躍されていますが、もともと海外のお仕事にも興味があったんですか?  
**K** いいえ、もともとは考えていませんでした。大好きだった母が亡くなったときの遺書に「あなたは世界で活躍しなさい」と書かれていたんです。それを見たときに、「世界に目を向けよう」と思いました。

### 大切なのは、楽しく勉強すること!

**D** 川崎先生の、これからの夢はありますか?  
**K** 小児科にいる、病氣の子どものために絵を教えたいんです。  
**D** 素敵な夢ですね。絵を学ぶことで、子どもたちの表現の手段が増えますね! 今、子どもたちへ伝えたいメッセージはありますか?  
**K** 楽しく勉強すること! いやな気持ちで勉強しないことが大切です。ほら、大好きな先生の授業は一生懸命勉強するけど、苦手な先生の授業はしっかり勉強できないですよな?

**D** はい、僕もそうでした(笑)  
**K** でも、そうすると苦手な先生の担当科目も、苦手になってしまふ。だから、苦手な先生の授業は「もっと勉強して、この先生を追い抜いてやる!」くらいの気持ちで勉強するんです。そうすると、楽しく勉強できるようになりますよ。  
**D** なるほど! それはゲームみたいで燃えますね! 苦手なことこそ、楽しんでやろう考え方、大尊敬です!



MORI OHGAI

KITA MORIO

YOKOO TADANORI



左:川崎先生の著書「ドリームデザイナー」  
上:川崎先生の作品「Artificial Heart」(人工心臓)